



TAKE OFF 創造的復興の、その先へ

阿蘇くまもと空港新旅客ターミナルビル開業記念特集

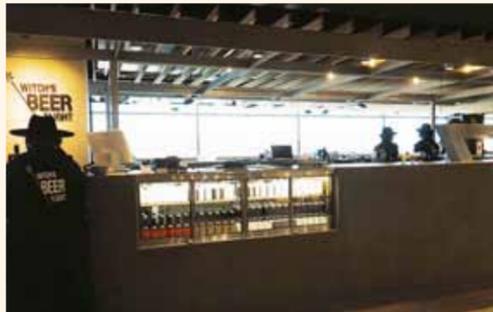
▶国際線の出国審査場を抜けた先にある免税エリアは、従来の10倍の面積になった。化粧品香水は海外ブランド、国内ブランドの計14ブランドが展開する



▲店内では飲酒も楽しめる「くまもと旬彩館」



▲熊本の人気コーヒーショップ「珈琲回廊」がフードコートエリアの中央に位置し、網型のれんが目を引く



▲熊本の地ビールも提供する「WITCH'S BEER FLIGHT」。カウンターの先には滑走路が見渡せる



▲搭乗待合エリアにはフードコートとデパ地下ゾーン(土産物店舗)に隣接して搭乗口があるため出発まで時間を気にせず楽しむことができる



▲熊本・九州の特産品や逸品を県内外の利用者に紹介する「QSHU HUB」



▲天井の高い広々とした空間に約200席を備えた「Lounge ASO」。個室ブースも備え、ビール、焼酎、コーヒーなどのドリンクサービスもある

外14ブランドを取扱う。今回の第1期開業の役割としては、空港利用者へ対し全国の空港でもユニークな内際一体型の「搭乗待合エリア」での魅力を高め、最先端機器を導入した「ファストトラベル」の機能充実を優先した。今後の2期工事により2024年秋頃には、地域に開かれたエリアとして「賑わい広場」を開業、さらに「ビジネスと観光の掛け算」による相乗効果の創出を目指すという。



▲天草産の鮭や海鮮丼が気楽に味わえる「鮭 福伸」



▲からし蓮根の「おた商店」



▲阿蘇ミクルチーズケーキ工房「RICO」

“デパ地下”気分 熊本の名店26店舗が集結

出発直前まで、ゆとりの時間消費

—搭乗待合エリア—

3階の保安検査後の搭乗待合エリアは、国内線と国際線の共用ラウンジとしては従来の約45倍と国内最大規模の店舗面積に拡大、26店舗が出店している。フードコートには、あか牛丼などを提供する「あか牛食堂よかよか」、たまごかけご飯の「コッコファーム」、馬刺しの「菅乃屋」、天草の新鮮な魚介の鮭や海鮮丼の「鮭 福伸」、熊本名物の「味干×桂花ラーメン」、コーヒーショップの「珈琲回廊」など熊本の食の名店が勢揃い。さらに「デパ地下」のようなライブ感のある演出で、熊本県産の逸品を楽しめ、土産としても購入できるゾーンにはからし蓮根の「おた商店」、山うにとうふの「五木屋本舗」、お茶の富澤の新業態「TEAS TAND Tuguto」、蜂蜜の「杉養蜂園」など11店が出店。物販土産店では「くまもと旬彩館」、熊本のニツチな一点ものを扱う「MIYABA」、クマモトマーケットなど熊本の旅にふさわしい多彩な店舗で構成されている。

その他熊本・九州のショールームとして地域の持つ魅力を発信する「QSHU HUB」も注目されるスポットだ。

免税店は3階の国際線出国審査後のエリアにオープン。売り場面積は従来の10倍超の広さになり、国内